



# 鶴からの手紙

真鶴中学校だより 第三二八号

2021.7.20  
責任者  
市川 麻美

## 一学期 走りきりました！

令和三年度一学期、三者面談も無事終了して、いよいよ明日から夏休みです。

保護者・地域の皆さまには、なかなか学校の様子を直接見ていただく機会を持てずにおりますことを大変申し訳なく思います。ご理解とご協力をいただき、感謝申しあげます。

今夏も昨年同様、暑い中でも感染症対策は欠かせません。なかなか以前のような生活には戻れず、困難な日々が続きますが、生徒の皆さんのニューススタンド（新しい学校生活習慣）はしっかりと定着してきてありがたいです。夏休み期間中であっても、一歩外に出たら危機管理に対する意識をしっかりと持ち、『学校での当たり前』を思い出して、振る舞うようにしましょう。

真鶴中学校には、三度の『節目（ふしめ）』があります。

そうです、『一学期、二学期、三学期』です。それぞれ、終業式から次の始業式までの長さには差がありますが、『休業期間』があります。そこまで必死で走り続けてきたことを、一度クールダウンして考え直すことができる、大切な時間だと思えます。

是非ゆつくりと、この三ヶ月あまりの自分を振り返ってみてください。そして、改めて前へ進んでいく英気を養いましょう。たとえ『小さな節目』だとしても、大切に生かして、二学期からの学校生活を充実させられるようにしたいものです。

### 小田原市・足柄下地区 中学校総合体育大会

七月二日(金)に生徒会主催の『激励会』が行われ、各部から決意表明がなされました。



『女子バレーボールの部』  
本校会場で行われました。

千代中戦では、デュースが続ぎ手に汗握る展開となりましたが、セットカウント一対二で惜敗。最後までよく頑張りました。



『サッカーの部』  
城山中戦。大差となりましたが、大変暑い中最後までボールを追いました。一点を取りに最後まで走り抜く姿がありました。

『女子バスケットボールの部』  
白鷗中戦。

大差がついてしまいました。が、三年生七名で最後の最後まで一ゴールでも決めようと走りきりました。



どの試合も、『最後まであきらめずに』戦う選手の姿がとても素晴らしかったです。

### 一学期を振り返って

私達三年生は、一組が「縁」、二組が「Sponge」という学級目標を立てて学校生活を送っています。一組の目標は、一つ一つの縁を大切にしようという意味で、二組の目標は、はじめや個性を大切にしようという意味です。アンケートによると、どちらのクラス

も、学級目標に向けて努力をしてきた人が半数以上いました。また学習面では、授業に集中する姿勢が習慣になっています。

運動会は、感染症対策をした形の運動会となりましたが、みんな協力し、思い出に残る運動会をすることができました。

二学期に向けて、引き続き一・二年生のお手本になるように行動していきたいと思えます。そして一・二年生にしっかりとバトンを渡せるように三年生としての責任を果たしていきたいです。

三年

一学期を振り返って良かった点は、思いやり、協力する心があり、明るく過ごしやすい雰囲気であるということです。

テスト前の休み時間に、教室で勉強している人に配慮して行動したこと。授業中に分からない人や困っている人に声をかけ教え合いができていたこと。はじめの頃はできなかったあいさつを、自分から進んでできるように頑張ったこと。これらは、思いやりや協力する心が形になって表れているものです。

一方で、発言する人が固定化していること。給食や授業の開始時間を意識しない行動。授業中に寝たりマイナスイラスト発言をしたりなどの態度があること。これらは改善すべき点です。

二学期は、これらの改善すべき点を意識しながら、良さを伸ばし、よりよい二年生となるようにしていきたいです。

二年

私たちは、学年目標を「仲間を大切に助け合いながら優しさのあふれる最高のクラスにしよう」としました。

四月は真鶴中学について知り、中学生になるという自覚を持てるように生活してきました。

五月は初めての運動会があり、二・三年生との仲を深め、楽しい運動会にすることができました。

六月は、初めての定期テストがあり、それに向かってマナログを活用した計画的なテスト勉強ができるように目標を立て

ました。

七月は部活の大会がありました。大会に出ない人たちも出る人を応援し、互いに、ありがとうという気持ちを伝え合いました。

私たちはこの一学期で、他学年との関わり方、テスト勉強を計画的に行うこと、応援し合う気持ちの大切さを学ぶことができました。

一年

※編集のため、要約しています

### 令和3年度学校関係者評価委員会

6月22日(火) 令和3年度第1回学校関係者評価委員会が開催されました。様々な立場の方からのご意見をいただき、学校運営に生かしていきます。

【令和3年度委員】(敬称略)

橋口 裕子	学識経験者(再任)
小西 幸子	民生・児童委員(再任)
阿部 理恵	PTA 役員(再任)
常盤 李奈	PTA 役員(新任)
中村 恭子	小学校評議員(新任)
原 浩子	中学校評議員(新任)

## 幼小中連携のまど Vol.3 「iPad 本格導入」 ICT 担当

- ・より豊かな学びや学校生活にするため、iPad を上手に活用します。
- ・アナログもデジタルも、うまく使います。今までの学び方も大切にします。

これらは、まなづる小・真鶴中共通ルール『学びのiPadのやくそく』の一部です。真鶴中では、6月から本格的にiPadが活用されています。写真は、国語科授業の一コマです。一人一台のiPadを前に、みんな黙々と「文の要約」に取り組んでいるところです。

「書くことを苦手としていた生徒も。意欲的に取り組むようになった」「意見を共有しやすいので、学びに深まりが見られるようになった」など、授業者の言葉にはICT活用の手ごたえが感じられます。現段階では、各教員の創意に任せて授業が進められていますが、小中が同じルールのもと、連携してICT活用を進めていくことで、連続性のある学びが期待できると思っています。

